

広告を読む。

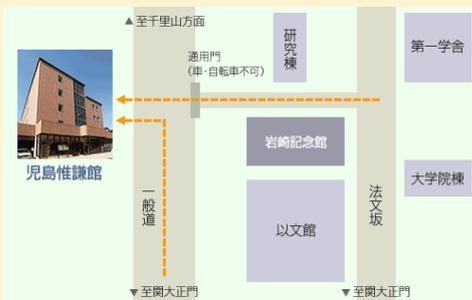
広告のキャッチフレーズは、わずか数文字から十数文字。しかしその内には数億では足りないくらいの文字（情報）が込められています。例えば、日本のベストコピーにも挙げられる「おいしい生活」。今や30数年前のコピーですが、「時代/社会/人間」という観点から「読む」と、その頃の人や社会が脳裏に鮮やかに再現されます。広告をもっと楽しんで欲しい。そんな思いを込めて、広告を「読む」ということ、その喜びをお話しします。

12/20(火)

15:00-16:30

関西大学千里山キャンパス

児島惟謙館2階第2会議室



申込不要・聴講自由

講師

山本 高史 氏

関西大学 社会学部 教授



(プロフィール)

1961年京都府生まれ
1985年大阪大学文学部卒業
同年(株)電通入社
2006年(株)コトバ設立
2013年関西大学社会学部教授に就任

著書に「案本」(インプレスジャパン)、「伝える本。」(ダイヤモンド社)、鎌田薮との震災を巡る対談「ここから。」、本年出版した「広告をナメたらアカンよ。」(宣伝会議)などがある。